



キミと一緒に、育っていきたい。
Komaki

概要版

小牧市公共施設白書

市内にはどんな
施設があるの？



利用者1人当たりの
年間コストは？



どのように
利用されているの？



小牧市初の公共施設白書の発刊に当たって

本市では昭和４０年代から、人口増加に伴いその需要に応えるために、学校や集会施設など様々な公共施設を建設してきました。

現在、この集中的に建設された公共施設の大半が築３０年以上を経過してきており、遠からず一斉に建替えなどの老朽化対応を迫られる時期を迎えることとなります。そのため、今後これらの施設の建替えや大規模な修繕等の費用が増加し、大きな財政負担となることが心配されています。

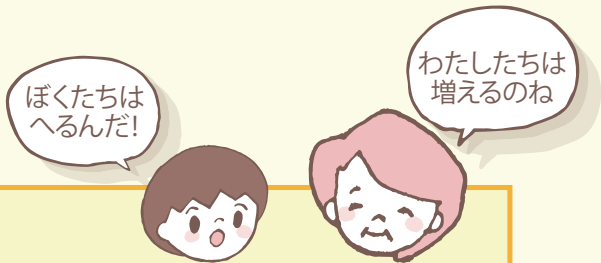
また、本市を取り巻く社会情勢も、少子高齢化の進展や人口減少社会の到来など、多くの公共施設が建設された当時と比較して大きく変化してきています。本市の人口構造が大きく変化するとともに、公共施設に対するニーズにも変化をもたらし、施設の需要と供給に差が生じるなど課題が表れてきています。

このような課題を解決するために、市が保有している公共施設について、施設の配置や利用状況、コスト状況等の実態を様々な視点から調査し、見える化し、課題をとりまとめた「小牧市公共施設白書」を作成しました。この白書では、施設の用途別に実態を把握するだけでなく、６地区１６小学校区別の観点からも分析・課題の整理を行なっています。

今後は、この公共施設白書をもとに、市民の皆様と情報を共有し、ご意見をいただきながら、本市の公共施設のあるべき姿について共に検討してまいりたいと考えております。皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



平成２６年１０月
小牧市長 山下 史守朗



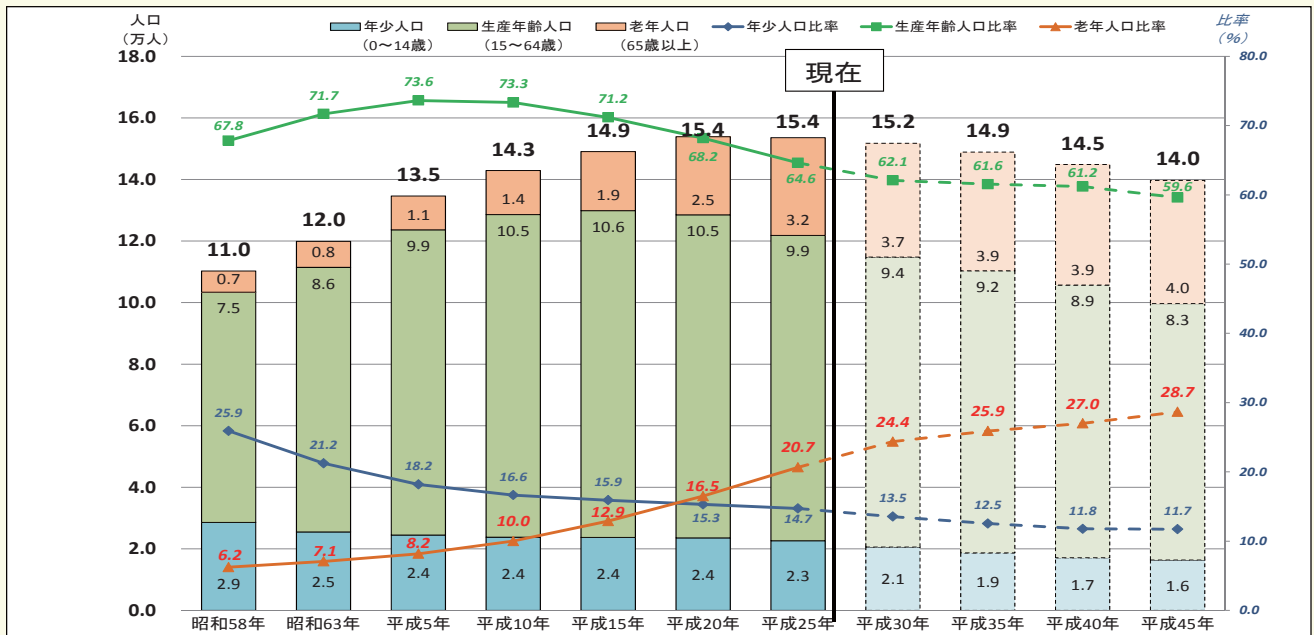
1 公共施設を取り巻く状況

1. 人口状況

(1) 市全体の人口推移及び将来予測

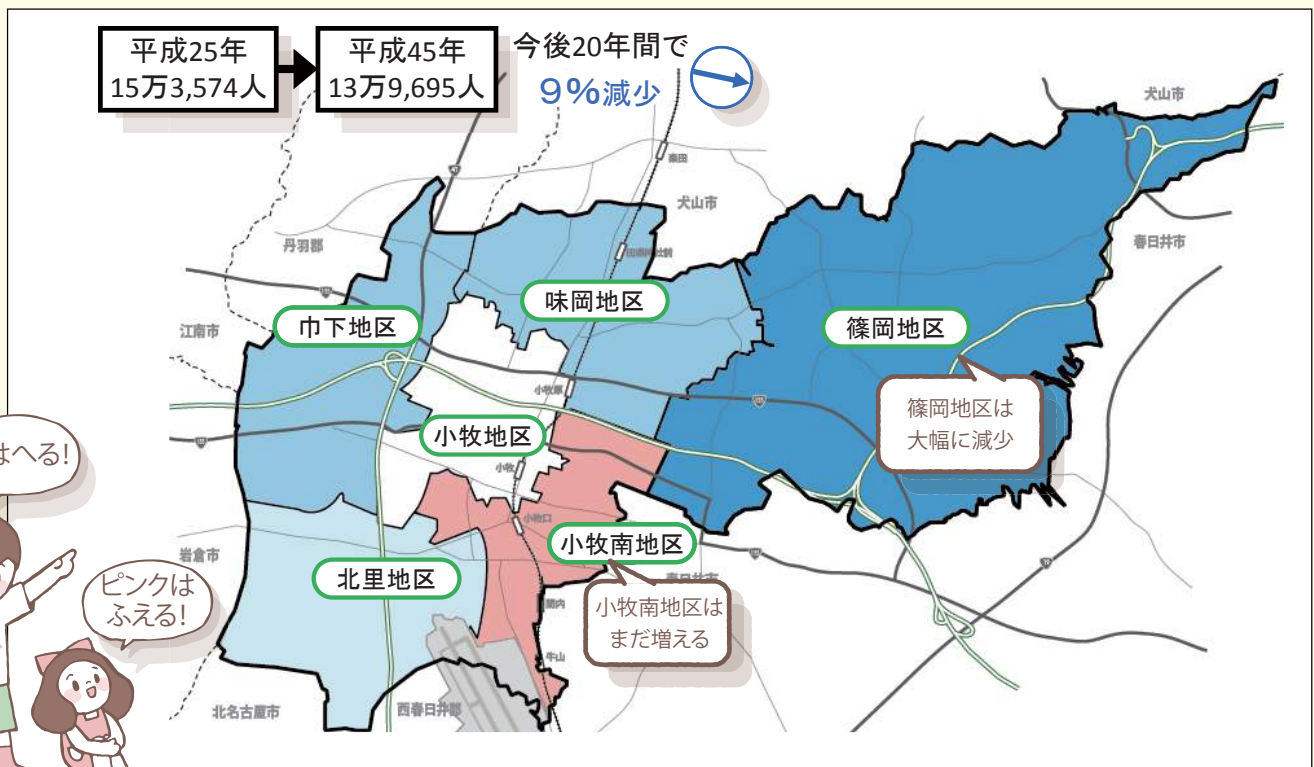
- 平成20年以降横ばい傾向で、平成45年の約14.0万人まで減少予測（約9%減少）

人口減少だけでなく、人口構成が大きく変化する！



(2) 地区別人口変化

- 小牧駅周辺の小牧地区は横ばい傾向、小牧南地区が増加傾向と予測、その他地区は減少予測で、地区によって大きく異なります。



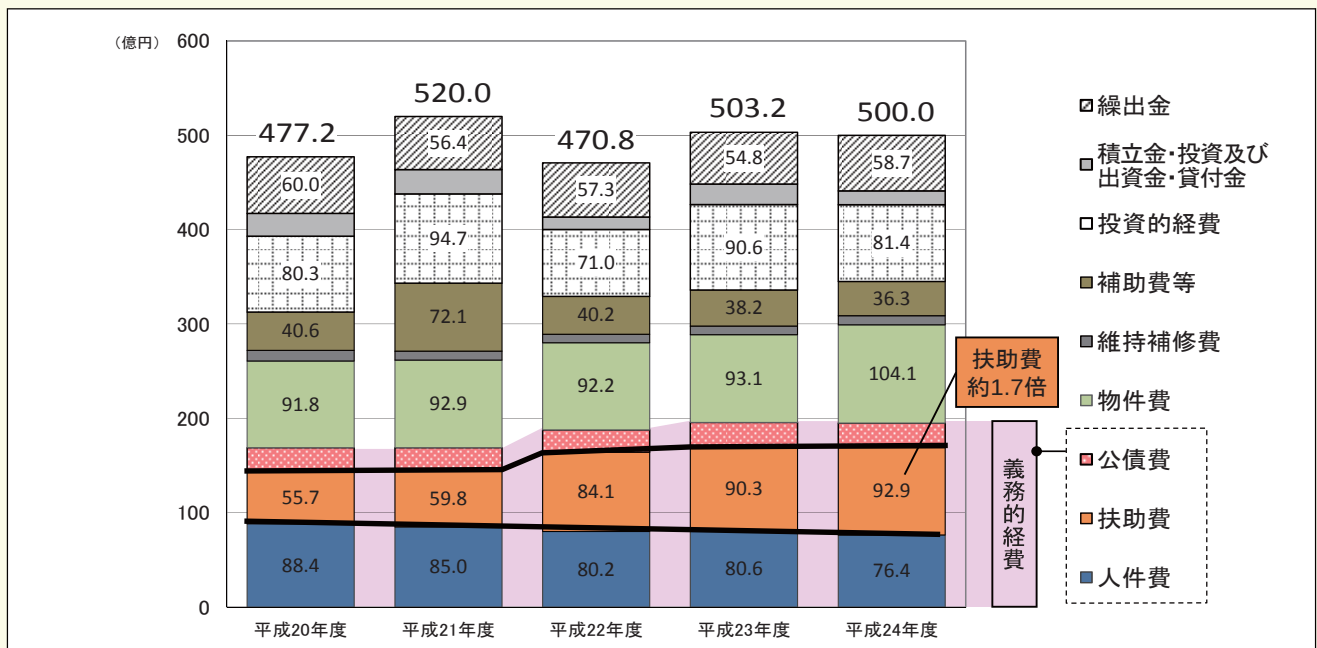
お年寄りが
増えるため、今後も
福祉関連の経費が
増えていく
わけだな



2. 財政状況

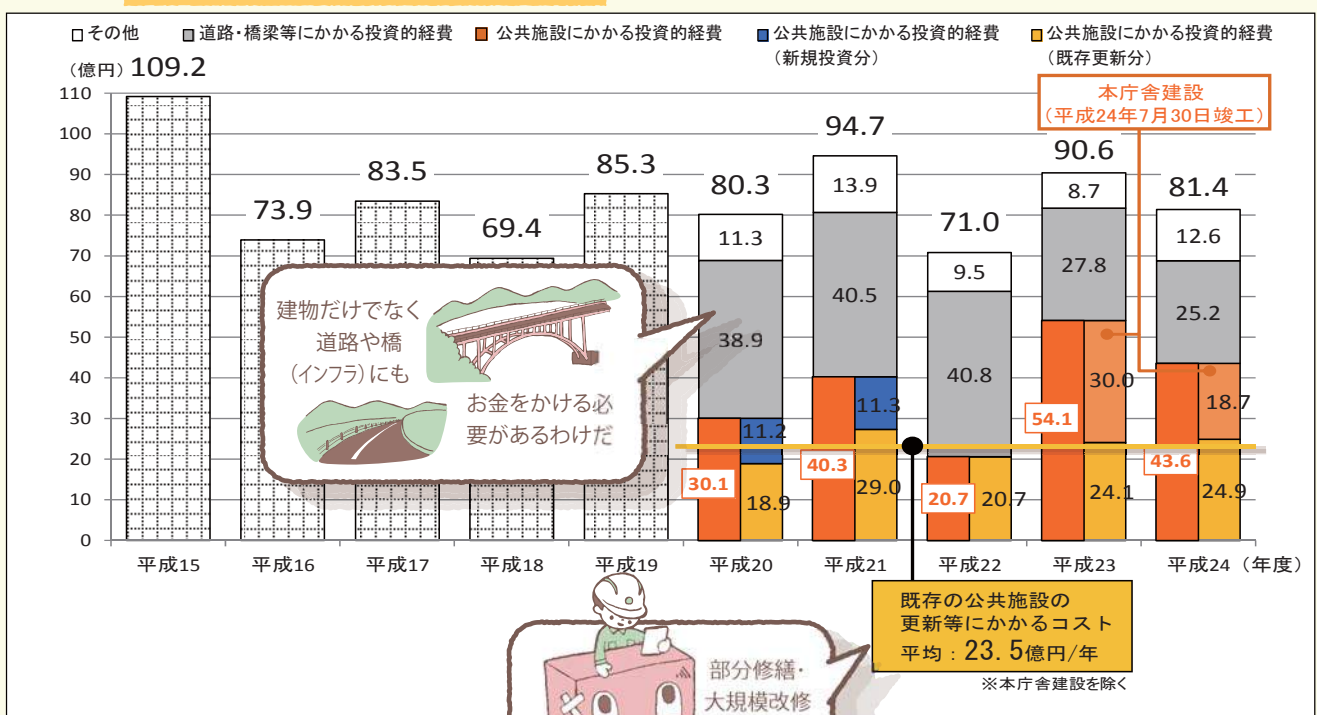
(1) 歳出の状況

「義務的経費」のうち、人件費は微減、公債費は横ばいですが、社会福祉費などの扶助費が約 1.7 倍と増大しています。今後も、扶助費は少子高齢化の一層の進展などにより、増加が見込まれるため、「義務的経費」の増大が懸念されます。



(2) 投資的経費の状況

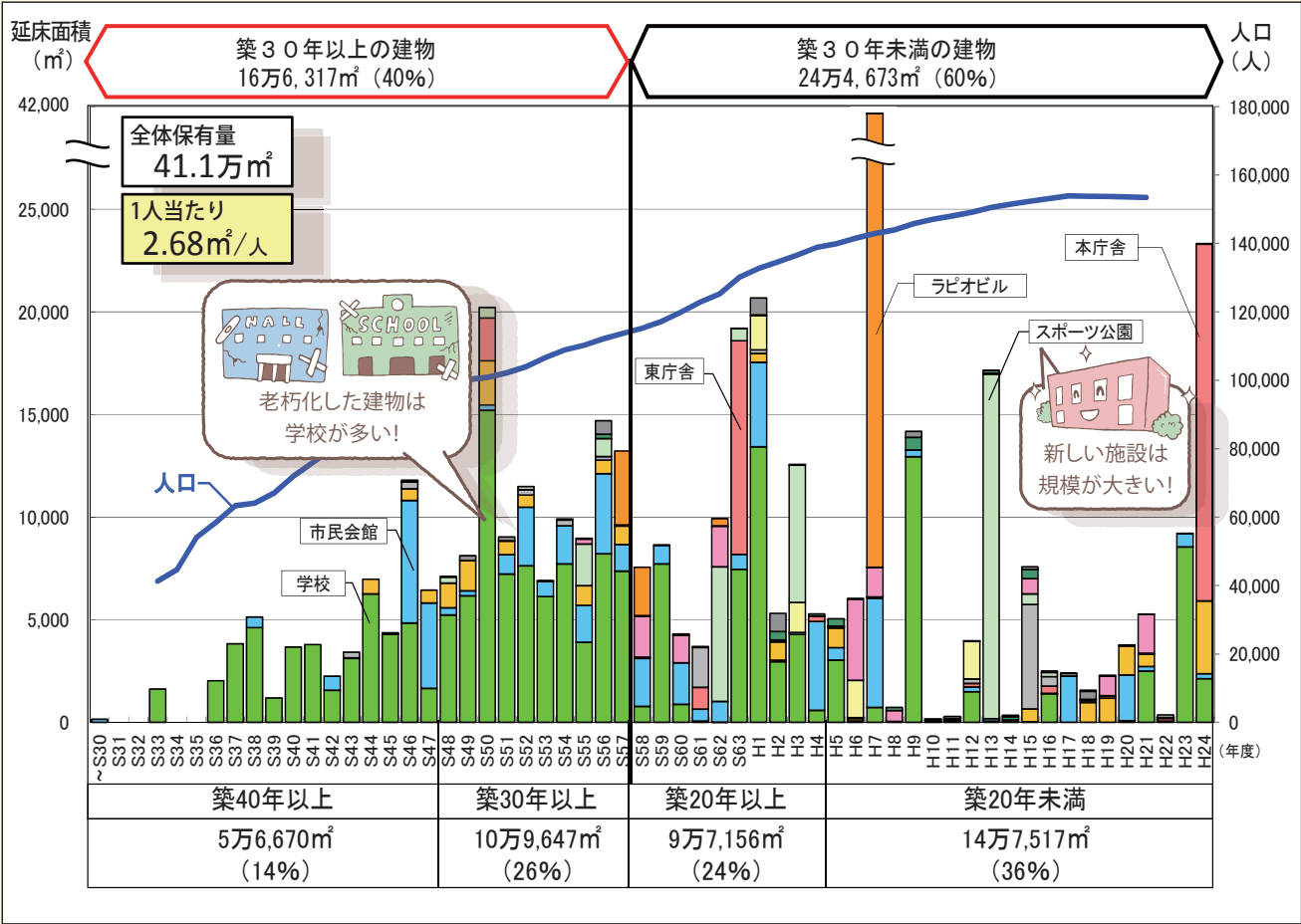
- ・ 概ね直近 10 年間は 70～110億円の水準で推移
- ・ 内訳をみると、道路整備や河川等のインフラ整備には25～41 億円程度、公共施設等には21～54億円程度支出しています。





3. 施設状況

- ・ 保有建物延床面積 41 万 990 m²、1 人当たり 2.68 m²/人
- ・ 築 30 年以上を経過した建物は約 16.6 万 m² (約 40%)
- ・ 築 30 年以上の建物をみると、学校が約 70%を占めており、他の公共施設に比べ老朽化が顕著

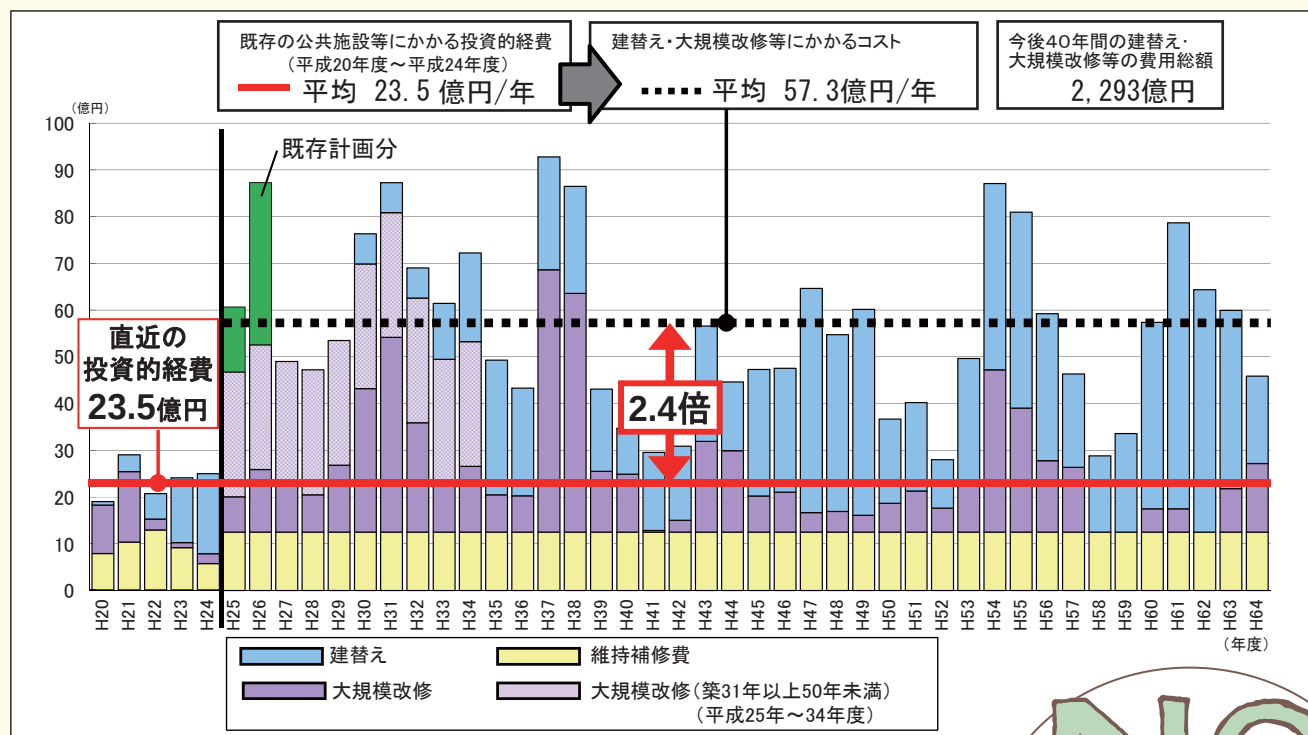


用途名	延床面積	構成比	用途名	延床面積	構成比
学校教育施設 小学校、中学校、学校給食センター等	188,659m ²	45.9%	保健・福祉施設 老人福祉センター、保健センター等	15,222m ²	3.7%
市民文化施設 市民会館、公民館、市民センター、会館、図書館、歴史館、民俗資料保存施設等	54,238m ²	13.2%	環境施設 リサイクルプラザ、資源回収ステーション等	9,345m ²	2.3%
産業系施設 再開発ビル(ラピオ)、勤労センター	40,201m ²	9.8%	市営住宅 大輪住宅、鷹之橋住宅	6,779m ²	1.6%
スポーツ・レクリエーション施設 スポーツ公園(ハークリーナ)、体育館、武道館、温水プール等	35,630m ²	8.7%	公園附属施設 市民四季の森、間々原新田緑地等	3,148m ²	0.8%
行政系施設 庁舎、消防庁舎、分団車庫等	32,152m ²	7.8%	その他 駐車場、倉庫等	4,184m ²	1.0%
子育て支援施設 保育園、幼稚園、児童館、児童クラブ	21,434m ²	5.2%	合 計 410,990m ²		

※ 旧庁舎及び旧味岡保育園を除く
 ※ 延床面積は端数処理をしているため合計と一致しない

4. 今後の施設の建替え・改修にかかるコスト試算

- ・ 平成 25 年度から平成 64 年度までの 40 年間で、積み上げ方式で試算すると年平均 57.3 億円、**現状の公共施設にかかる投資的経費（既存更新分）の約 2.4 倍**
- ・ このままの予算でいくと、**今ある公共施設の約41%しか更新できない状況**となります。



**このまますべての施設を
更新すると2.4倍の57.3億円
が毎年必要となります**

言い換えれば

現状の投資的経費
を維持した場合

建替えできない

59%

41%



なにか
対策は、
あるの？

そんなに
お金が
かかるのか

それだけ
お金をかけるのは
難しいよね

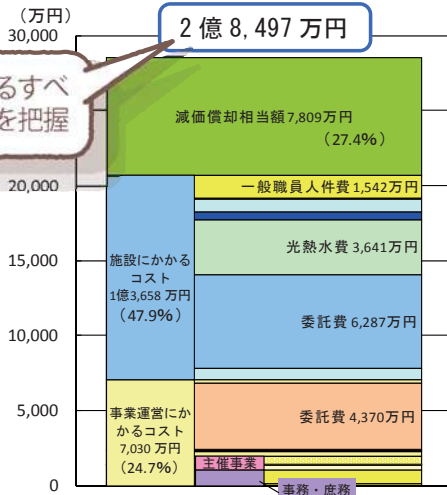
まずは公共施設の実態(使われ方・経費など)を知るところからはじめましょう



2 用途別実態把握 ～公共施設の実態把握～

公共施設の実態を4つの観点で把握しました!

施設にかかるすべてのコストを把握



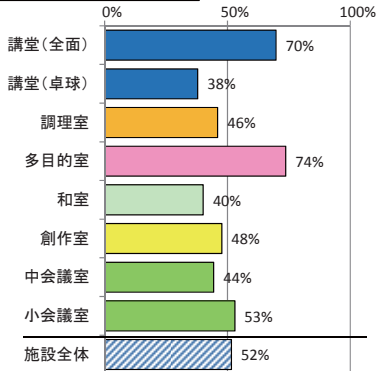
コスト状況

建物状況

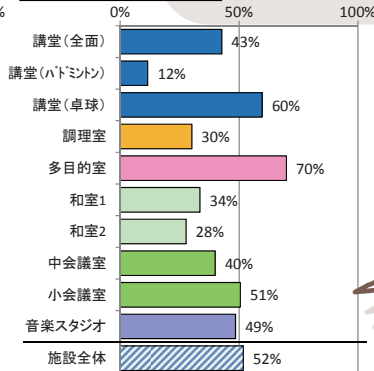
	パターンC 今後 老朽化	パターンD 環境未対応	パターンE 問題なし
評価	・老朽化が進行している	・環境対応が未完了	・特に問題がない施設 (大規模改修実施済み施設も含む)
評価	①耐震安全性 ②老朽化状況 ③ハザード対応状況 ④環境対応状況 ⑤維持管理費	①耐震安全性 ②老朽化状況 ③ハザード対応状況 ④環境対応状況 ⑤維持管理費	①耐震安全性 ②老朽化状況 ③ハザード対応状況 ④環境対応状況 ⑤維持管理費
該当施設	篠岡児童館	児童センター 小牧児童館 北里児童館 大城児童館 中央子育て支援センター 子育て広場	味岡児童館 小牧南児童館 西部児童館
建築年度	平成元	昭和56 平成21 平成4 平成20 昭和56 平成7	平成24 平成20 平成17
	<1施設>	<6施設>	<3施設>

利用状況

西部コミュニティセンター



南部コミュニティセンター



レーダーチャートで施設を評価

各施設が1年間でどのくらい利用されているか(稼働率・利用者数など)

施設の運営に必要な職員数や時間帯ごとの運営状況を把握

運営状況

		7時	8時	14時	16時	18時	19時
市立保育園(19園) (平均規模:834㎡)	3歳～5歳児	延長保育	保育	保育	延長保育	延長保育	延長保育
対象年齢 0歳～就学前 (施設によって異なる)	0歳～2歳児	延長保育	保育	保育	延長保育	延長保育	延長保育
開園日	月～土曜日						
入園児数	123人/施設						
入園率	93%						
市立幼稚園(1園) (平均規模:932㎡)	3歳～5歳児		8:40	教育			
対象年齢 3歳～就学前				最大5.8時間			
開園日	月～金曜日						
入園児数	132人/施設						
入園率	73%						

パパもママも働いているからわたしは保育園!



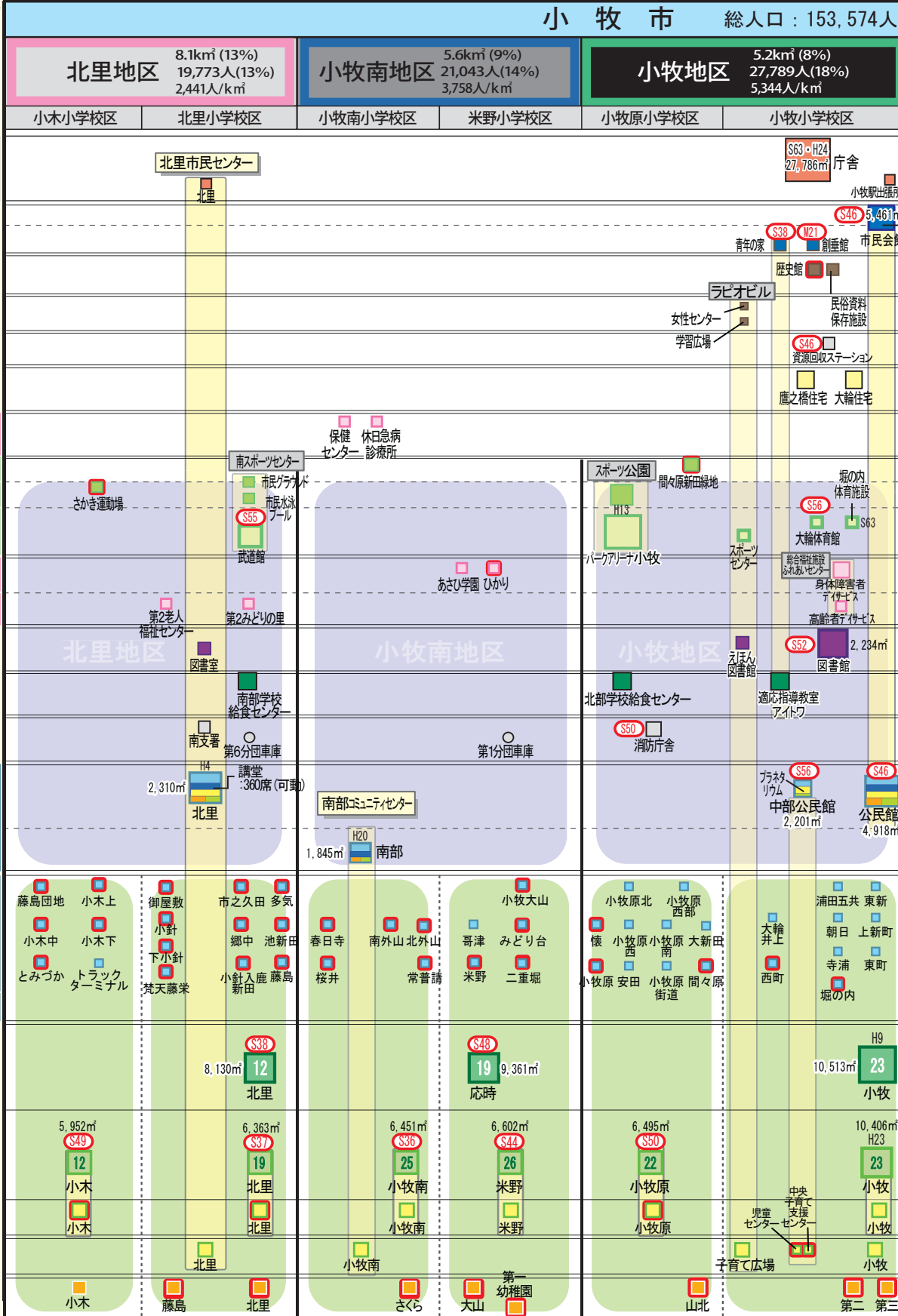
～公共施設の設置状況～

小牧市で保有している公共施設を「地域実態マップ」で整理しました

地域実態マップ

建物延床面積:41.1万㎡
1人当たり面積:2.7㎡/人
地区(6)
小学校区(16)

行政窓口	市役所(1) 支所(3)
市民会館	市民会館(1) 青年の家・創垂館(2)
歴史展示保存施設	歴史展示保存施設(2)
産業系施設	産業系施設(3)
環境施設	環境施設(2)
市営住宅	市営住宅(2)
福祉	保健医療施設(2)
公園付属施設	公園付属施設(2)
スポーツ	屋外スポーツ(6) 屋内スポーツ(7)
福祉施設	障がい者福祉施設(3) 高齢者福祉施設(6)
図書館・図書室	図書館・図書室(5)
給食センター等	給食センター等(7)
消防施設	消防施設(10)
公民館・市民センター	公民館・市民センター(5)
コミュニティセンター	コミュニティセンター(2)
会館	会館(80)
老人憩の家	老人憩の家(3)
中学校	中学校(9)
小学校	小学校(16)
児童クラブ	児童クラブ(16)
児童館等	児童館等(10)
保育園	保育園(19)
幼稚園	幼稚園(1)



※原則100㎡以上の公共建築物が対象(ただし、病院・水道の企業会計の施設、道路、橋梁などのインフラ施設など)
※学校の学級数(特別支援学級は含まず)は、平成25年5月1日時点

エリアごとに
公共施設の実態を
重ねて、見てみます



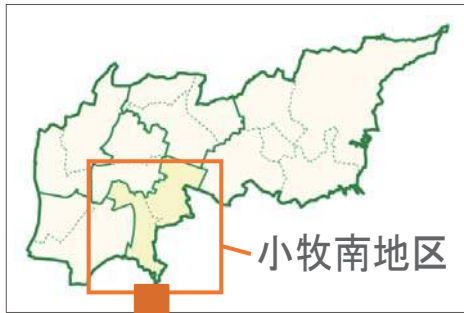
3 地域別実態把握

6地区・16小学校区別の地域特性
と施設の関係性を明らかにしました

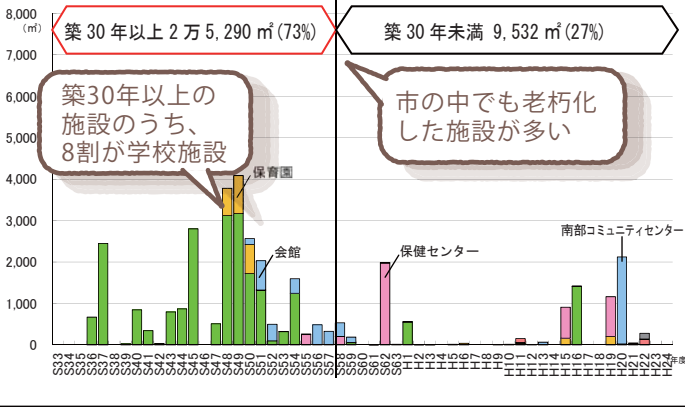
小牧南地区（小牧南小学校区・米野小学校区）

面積	5.6 km ²
人口	2万1,043人
人口密度	3,758 人/km ²

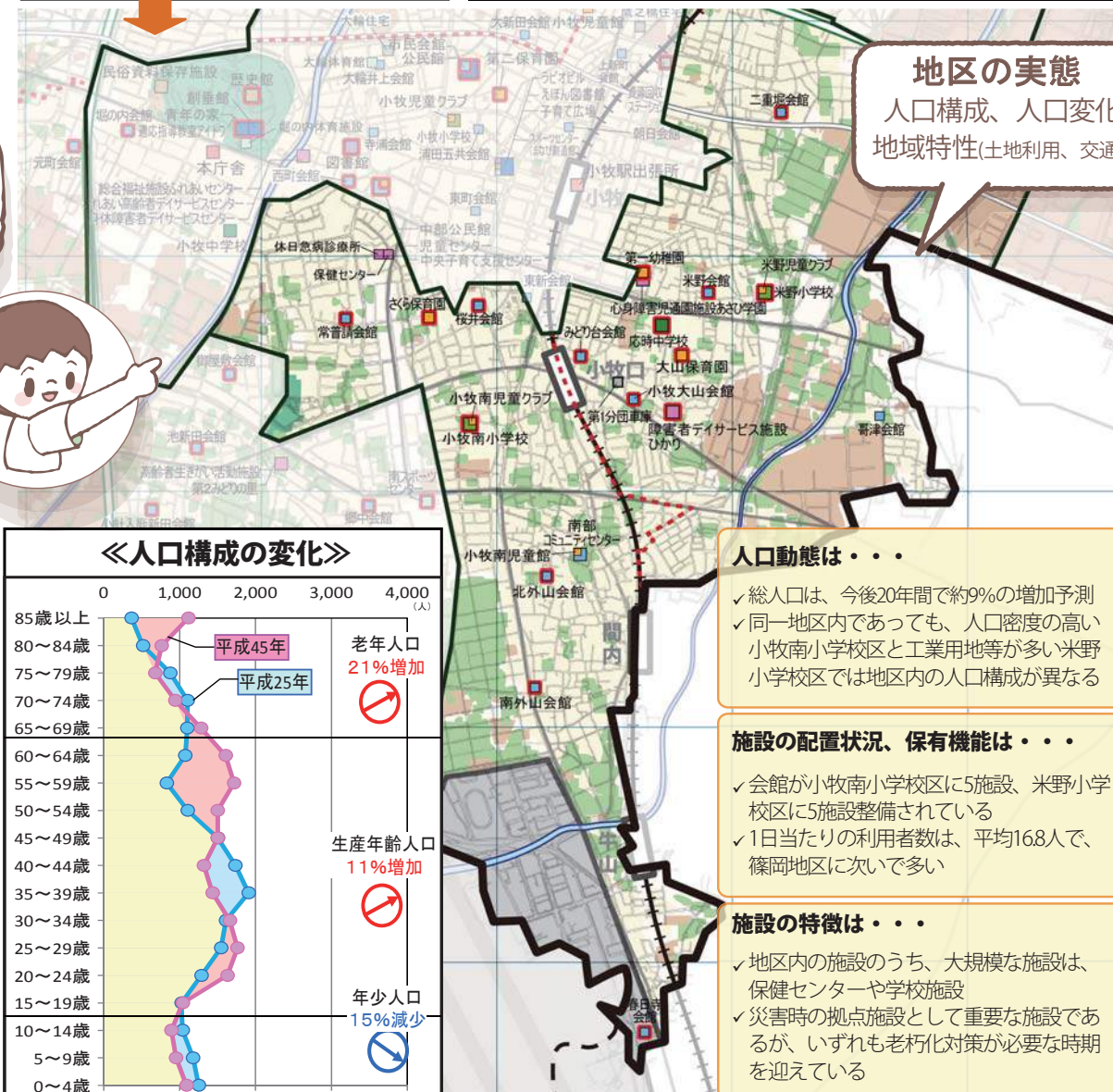
延床面積	3.5万m ²	1.7m ² /人
------	--------------------	----------------------



小牧南地区



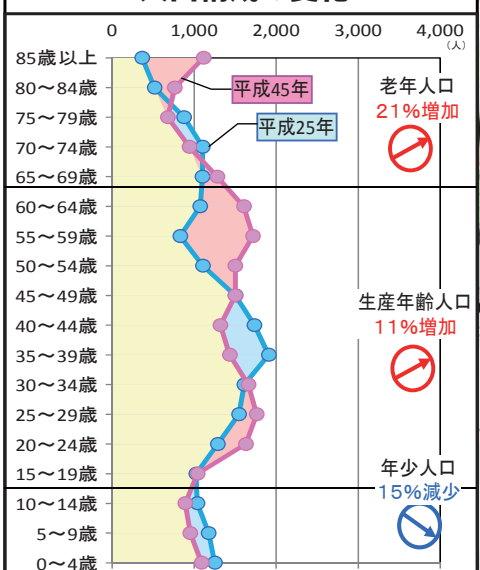
僕たちの家だよ！
駅前が便利だよ！



地区の実態

人口構成、人口変化
地域特性(土地利用、交通)

《人口構成の変化》



人口動態は・・・

- ✓ 総人口は、今後20年間で約9%の増加予測
- ✓ 同一地区内であっても、人口密度の高い小牧南小学校区と工業用地等が多い米野小学校区では地区内の人口構成が異なる

施設の配置状況、保有機能は・・・

- ✓ 会館が小牧南小学校区に5施設、米野小学校区に5施設整備されている
- ✓ 1日当たりの利用者数は、平均168人で、篠岡地区に次いで多い

施設の特徴は・・・

- ✓ 地区内の施設のうち、大規模な施設は、保健センターや学校施設
- ✓ 災害時の拠点施設として重要な施設であるが、いずれも老朽化対策が必要な時期を迎えている

小牧南地区

小牧地区

巾下地区

味岡地区

篠岡地区

北里地区

4 課題のまとめ・今後の取組み

今まで見てきた、白書の内容をまとめると

第1章・2章 資産や財政の状況・人口変化の予測など

- ・人口急増期に整備された学校や集会施設等の公共施設が、今後一斉に更新時期を迎える
- ・地区内人口や年齢構成の変化により、公共施設へのニーズの変化に対応が必要になる

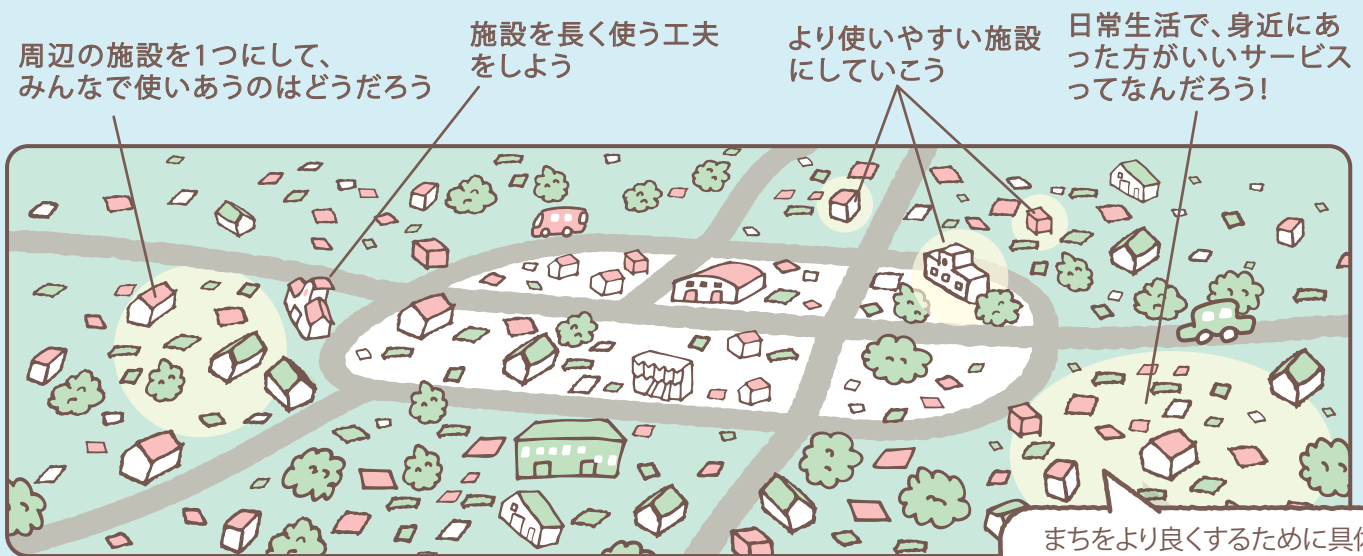
第3章 用途ごとの実態からの検討

- ・老朽化した施設の一体的な更新により、類似機能の集約化について考える
- ・施設の必要性を再確認し、利用率向上に向けた見直しなど、利用ニーズに応じた機能(サービス)の提供方法を考える

第4章 地区ごとの実態からの検討

- ・地区特性に応じた施設の必要性を再確認するとともに、交通状況等を踏まえ、利用者の利便性に配慮した施設再編を考える
- ・学校を中心とした周辺施設の更新など、機能の集約化や施設の複合化を考える

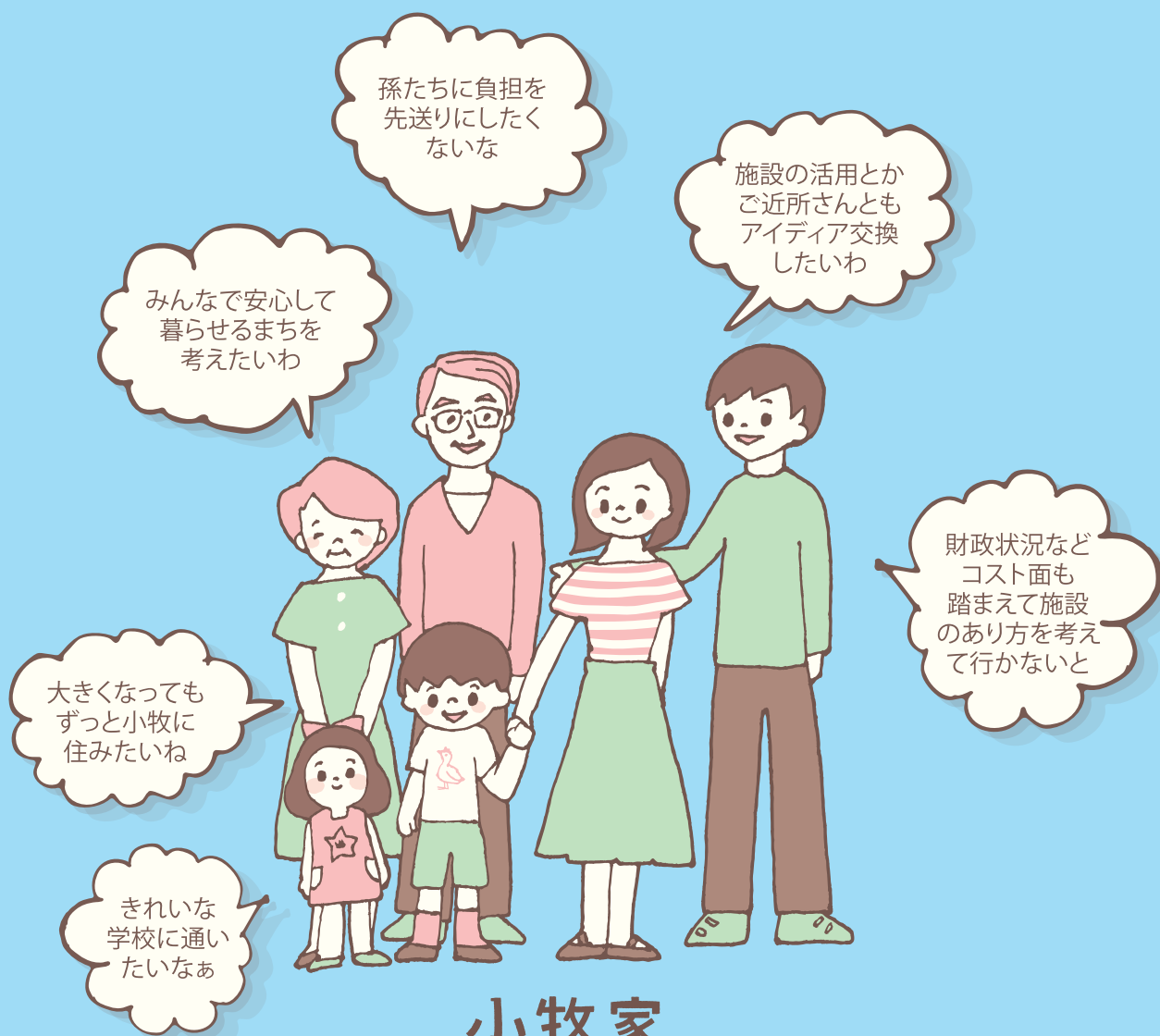
- ✓ 地区や小学校区ごとに、今後の人口変化等に合った行政サービスのあり方を検討
- ✓ 公共施設のあり方に関する全体方針の策定
- ✓ 財政制約の中で、方針に基づいて優先順位づけを行い、施設の更新を計画的に実行



まちをより良くするために具体的に実行可能なプランを白書をベースにして、一緒に考えていきましょう!

《今後のスケジュール》

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度以降
公共施設白書の作成		公共ファシリティマネジメント基本方針 公共施設適正配置計画 公共施設長寿命化計画		実行へ
市勢状況等の整理分析 公共施設の実態(利用運営コスト建物) 地区別の実態 今後の公共施設のあり方	劣化診断の実施 築20年以上の施設を目視調査 築30年以上の施設を躯体調査			



小牧家

私たち家族で小牧市の実態を見ました。
みなさんは、どんなまちにしていきたいですか？

小牧市公共施設白書

発行日：平成26年10月

発行：小牧市

編集：小牧市総務部資産管理課

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地

T E L : 0568-76-1110 (直通) F A X : 0568-75-5714

E-mail : shisankanri@city.komaki.lg.jp



市民と一緒に育っていききたい。
Komaki